

Guideline 4・5

2021
APRIL & MAY



特集 2021年度入試結果速報

変わる高校教育

今問う、学校の意義
～ウィズコロナ・アフターコロナの
高校教育を考える

注目の学部・学科

新型コロナウイルス感染症と学問

大学をみる視点

授業実施方針の読み方
～遠隔授業と対面授業に着目して

探究のポイント

大学入試改革を追う

変わる高校教育

第29回

今問う、学校の意義 ～ウィズコロナ・アフターコロナの 高校教育を考える

2020年は、新型コロナウイルス感染症の流行で、異例の1年間でした。3月から全国の学校が一斉臨時休業となり、その後も断続的に期間が延長され、地域によっては学校再開が6月までずれ込みました。

この間、生徒の学びを止めないよう、ICTを使った課題配信や授業動画の作成、WEB会議システムの活用など、新たな挑戦をしたことで、これまでにない教育の可能性を見出したという先生も少なくありません。

一方、長期にわたる休校の中で、授業の理解度や、生徒の学習意欲の喚起、教員と生徒・生徒同士のつながり、学校への帰属意識、1年生の初期指導などに課題を感じ、学校という場の意義を再認識したという声もあちこちから聞こえてきました。

今回の「変わる高校教育」では、コロナ禍での経験を今後の実践にどのように生かしていくのか、変わらない部分はどこなのか、そして学校の意義とはどこにあるのか、3校の先生方にインタビューしました。

CONTENTS

Part 1 高校教員アンケート

コロナ禍の対応から見てきた学校の意義と、今後のICT活用……p18

Part 2 高校の取り組み

北海道札幌北高等学校……p22

一堂に集い切磋琢磨する場としての学校の役割を再認識

茨城県立藤代高等学校……p24

対面とオンラインの利点を生かし

1年生の進路選択の視野を広げる

静岡聖光学院中学校・高等学校……p26

オンラインの良さは距離を超えてつながること

学校は知識伝達だけの場ではないことを改めて実感